

自己点検・自己評価報告書

2024 年 7 月 1 日現在

学校法人 田村学園

横浜経理専門学校

2024 年 7 月 1 日作成

目 次

校 長	部 長	記載責任者

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等..... 1

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか2
- 1-2 学校の特色はなにか2
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか2

基準 2 学校運営 3

- 2-4 運営方針は定められているか4
- 2-5 事業計画は定められているか4
- 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか4
- 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか4
- 2-8 意思決定システムは確立されているか4
- 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか4

基準 3 教育活動 5

- 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか6
- 3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか6
- 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか6
- 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか6
- 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか6
- 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか6
- 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか7
- 3-17 資格取得の指導体制はあるか7

基準 4 教育成果8

- 4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか9
- 4-19 資格取得率の向上が図られているか9
- 4-20 退学率の低減が図られているか9
- 4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか9

基準 5 学生支援10

- 5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 11
- 5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 11
- 5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 11
- 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか 11
- 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか 11
- 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 11
- 5-28 保護者と適切に連携しているか 12
- 5-29 卒業生への支援体制はあるか 12

基準 6 教育環境13

- 6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 14
- 6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 14
- 6-32 防災に対する体制は整備されているか 14

基準 7 学生の募集と受け入れ.....15

- 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか.....16
- 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....16
- 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....16
- 7-36 学納金は妥当なものとなっているか.....16

基準 8 財務.....17

- 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....18
- 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....18
- 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか.....18

- 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか.....18

基準 9 法令等の遵守.....19

- 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....20
- 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....20
- 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.....20
- 9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか.....20

基準 10 社会貢献.....21

- 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか.....22
- 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか.....22

基準 1 教育理念・目的・育人人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念、目標は明確に定められており、リスクをチャンスに変える、本物の“人財”を育成する。と明確に定めている。 目標は社会人としての商品価値を高めるために、クオリティの高い人材を育成すること。そのために本校では「在学中の複数資格の取得」と「リアリティある実務スキルの習得」を主眼に置いた教育を実践している。 これらの教育理念・目標は、学校案内、HP等にて情報を発信し、学内外に広く周知されるよう努めている。 専門学校の大きなテーマは、ビジネススキルの向上とあわせてコンプライアンスの理解・そして実行のできる人材の育成であると考えている。 これまでの横浜経理専門学校約 80 年間におけるビジネス教育実績・ノウハウに、リスクマネジメント教育プログラムを開発・融合することで今後の社会・企業に必要な人材の育成が実現可能となるはずです。そして、この教育プログラムの開発実施がビジネス社会からの要請でもあるはずです。 リスクマネジメント学科・ビジネス本科の近年の募集状況及び、マネジメント専攻科志願者の増加により 2020 年 4 月 1 日～2022 年 4 月 1 日の期間で段階的に学科再編を実施。学科再編を行うことで優秀な学生及び収入の安定性確保と、今後の学校経営の安定を図る。 2021 年 4 月にビジネス本科(1 年課程) から F P ビジネス科 (1 年課程) へ科名および教育課程変更。	特色 就職に有利となる人気のビジネス系資格を複数・同時に取得を可能にした独自の教育プログラムによる授業展開。 会計実務の専門家である税理士や法務実務の専門家である行政書士の直接講義が受けられ、本物のビジネススキルをすぐそばで体得できる。 一人ひとりの学生に目が届く少人数クラス制。 静かな環境で悩みや不安を解消するカウンセリングルーム完備。

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

1 教育理念・目的・育成人材像等

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	リスクをチャンスに変える、本物の“人財”を育成する。と明確に定めている。	教育理念・目的・目標は、学校案内・学校 HP・学則に明記されている。	特になし	学校案内 学則
1-2 学校の特色はなにか	4	資格を複数・同時に取得を可能にした独自の教育プログラムによる授業展開や専門家の直接講義等が特色。	専門家の直接講義により資格はもちろんのこと、本物のビジネススキルを体得できる。	現時点では特にはないが、今後、ニーズに即応して資格選定等適宜改訂することもある。	学校案内
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	時代の変化に合わせた長期計画を策定している。	2021 年 4 月にビジネス本科（1 年課程）から F P ビジネス科（1 年課程）へ科名および教育課程変更。	概ね計画通りに進んでいる。	事業計画書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付

2024 年 7 月 1 日

記載責任者

伊澤 明

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は、本校の運営指針・事業計画に示されており、教育方針や育成すべき人物像が明示されている。課題・問題点等が判明した場合には学校全体で協議の上改善に努めている。今年度も運営方針に従い教育活動を遂行している。 近年の募集状況及び、マネジメント専攻科志願者の増加により 2020 年 4 月 1 日～2022 年 4 月 1 日の期間で段階的に学科再編。学科再編を行うことで優秀な学生及び収入の安定性確保と、今後の学校経営の安定を図る。 2021 年 4 月にビジネス本科(1 年課程) から F P ビジネス科（1 年課程）へ科名および教育課程変更。 理事会は定期的、必要においては臨時に開催し、重要事項の審議を行っている。また、学校運営の諸規定は整備されており、寄附行為、組織図、就業規則（育児・介護・休業規則含む）、給与規定、教務規程などを運用している。細かな学校運営に関する意思決定は、隔週行われる責任者会議、適宜行われる学年・全体ミーティングで行っている。審議事項を討議し、最終的に部長・校長・理事会の承認を得るシステムを確立している。 教育目的実現のために就業規則（育児・介護・休業規則含む）、非常勤講師規定、教務規程等に照らし合わせながら人事業務を行っている。また、法改正や時代のニーズ等を考慮しながら教職員の働きやすい環境を整備していきたい。 就業規則（育児・介護・休業規則含む）、教務規程、給与規定等の諸規定に従い、適切な制度となっている。	情報システム 学内の業務効率化に加えて、学生獲得のための情報発信を強化していく。 学校 HP を一新し、動画での情報提供を増やしている。今後は講座配信などにも注力していく予定。 2016 年までは教職員と 3 つのパソコン室にそれぞれサーバーが設置され、それぞれ別個の Active Directory で管理されていたため、それぞれのネットワークで作業が必要となっていたが、2017 年度からはこれらのネットワークを教務セグメントと学生セグメントに統合した。

最終更新日付

2024 年 7 月 1 日

記載責任者

伊澤 明

2 学校運営

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4 運営方針は定められているか	4	運営方針は明確に定めている。	運営指針・事業計画に示されており、教育方針や育成すべき人物像が明示されている。	特になし	運営指針 就業規則（育児・介護・休業規則含む） 横浜経理専門学校経理規定 財務情報公開規程等
2-5 事業計画は定められているか	4	定めている。	2021年4月にビジネス本科（1年課程）からFPビジネス科（1年課程）へ科名および教育課程変更。	概ね事業計画通りに事業は進んでいる。	事業計画書
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	効率的なものになっている。	学園経営方針や組織図に基づいて、業務分担表の内容を中心に業務を行っている。	特になし	運営指針 組織図 業務分担表
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	人事や賃金での処遇に関する制度は整備され、適正に行われている。	就業規則（育児・介護・休業規則含む）、教務規程、給与規定等の諸規定に従い、適切な制度となっている。	特になし	就業規則（育児・介護・休業規則含む） 教務規定 給与規定
2-8 意思決定システムは確立されているか	4	整備している。	理事会は定期的、臨時に開催し、重要事項の審議を行っている。 クラス編成や検定試験対策等を責任者会議、学年・全体ミーティングを通じて決定している。	特になし	寄附行為 就業規則（育児・介護・休業規則含む） 組織図
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	情報の共有化を通して業務の効率化を図っている。	業務をフロー化し、書式を策定しマニュアルを作成することで効率化を図っている。	学内の業務効率化に加えて、動画での情報提供を開始し、情報発信を強化していく。今後は講座配信などにも注力していく。	学内ネットワーク構成図 システム管理業務表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされていて、各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。 教員に関しては、育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力等）を備えた教員を確保している。専門性向上のため、外部研修に積極的に参加し、ニーズの個性化・多様化・高度化、イノベーションによる業態変化に対応できるための教育の充実が必要であると考えられる。 就職支援等のキャリア教育については、職業観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育を実施している。早い段階からの就職相談や意識の啓蒙、面接指導等を行い、キャリア教育を重視している。 成績評価・単位互換については、明確に定められている。 資格取得はもちろん、様々な状況での応用力もレベルアップした状態で社会に送り出している。	・マネジメント専攻科 専門課程 2 年制 （卒業時：専門士称号付与、大学 3 年次編入資格） 企業経営に対して、財務的な視点から、企業に利益をもたらす方策を分析・検討できるような会計・経理の知識を持つ人材を育成する学科。 ・FP ビジネス科 1 年課程 FP ビジネス科では FP 技能検定合格はもちろんのこと、それに加えて「ダブルライセンス」を目指す。 ・FP 資格【 2・3 級 FP 技能検定・AFP 】（税金・保険・年金・投資等の幅広い知識） ＋ ・簿記会計資格（財政状態・経営成績の把握・帳簿、決算書作成知識スキル等） のように「ダブルライセンス」を取得できれば就職・転職・独立に大変有利。 2・3 級 FP 技能検定、AFP を筆頭に簿記・ビジネス実務法務・IT スキル等、ビジネスパーソンとして必要不可欠な知識・資格・スキルを 1 年という集中した期間で習得し、社会で活躍できる人材を育成する学科。

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

3 教育活動

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	教育理念と業界の人材ニーズは合致している。	教育理念・目標に沿いつつ、業界の人材ニーズを踏まえ、目標達成に向けたカリキュラムが、基礎から応用まで段階ごとに確立されている。	特になし	シラバス 時間割 年間予定表 学校案内
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3	明確に定めている。	教育理念・目標に沿いつつ、業界の人材ニーズを踏まえ、規定の学習時間とともに目標達成に向けたカリキュラムが、基礎から応用まで段階ごとに確立されている。	教育の質の維持・向上を図るために既存の職員に対して研修による更なる技術・能力の向上が必要である。	シラバス 時間割 年間予定表 学校案内
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	3	編成している。	目標達成（資格取得・就職）に向け、社会・業界の流れ・改定等を踏まえ、カリキュラムを編成している。	特になし	シラバス 時間割 年間予定表 学校案内
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	3	適正な位置づけをしている。	目標資格・受験時期ならびに各科目等を学校案内等で明記し、資格と科目の関連性を明確にしている。	特になし	シラバス 時間割 年間予定表 学校案内
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	授業評価の実施・評価体制はある。	目標達成（資格取得・就職）率向上のため、授業評価アンケートを実施している。	特になし	授業評価アンケート
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	確保している。	履歴書、職務経歴書等を精査するとともに、面接時に十分な確認を行って、授業内容に十分な技能レベルか判断しています。	専門性の常時把握や向上のため、関連分野のさまざまな研修等への積極的な参加を促す。	履歴書 職務経歴書

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	基準は明確に定めている。	成績評価・単位認定等の基準は学則を踏まえて、各学科の特性を考慮しながら基準を明確にしている。	特になし	成績評価表 成績評価基準 単位認定基準 科目別単位一覧
3-17 資格取得の指導体制はあるか	4	資格取得の指導体制はある。	目指す資格、スケジュールを学生に周知するとともに、カリキュラム以外にも受験対策補習等も実施している。	特になし	学校案内 シラバス 年間予定表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門学校の存在意義は、職業人（プロフェッショナル）として社会に貢献し得る専門性と職業意識を身につけた人材の育成だと考える。したがって、学生の卒業時点における就職内定は、専門学校教育の最も直接的な成果であり本校としてもその認識で就職指導に取り組んでいる。 就職に対する目標（就職率 100%）を設定し、その達成度を測定することで教育活動および就職指導の質的向上につなげるよう努めている。 資格取得については、学校運営上基本且つ重要事項と考える。資格取得により、就職活動で武器になることはもちろん、社会のニーズに対応できる即戦力となるため、資格取得＋α（応用力）をつけさせることが大事だと考える。まずは入学後のオリエンテーション等で目標資格に対する意識付けと、資格取得までの大まかなタイムスケジュールを明確にしている。 放課後の補習や、学生個々に対して、弱点を補いながら資格取得率の向上に努めている。 退学は、将来への明確な目的を持って進学してくる学生にとっても、学園にとっても、避けるべき選択肢と考える。悩みを抱える生徒に対して真摯に対応し、担任を中心に教務部全体で改善策を導き出すよう努めている。退学要因が家庭の経済的事情、精神的な疾患など多岐にわたる現状において、非常に対応が困難な問題でもありと考えている。 卒業生の就職相談については、情報を提供している。今後は SNS 等を利用し卒業生との連携、情報交換をさらに進めて、企業等についての情報収集がより一層出来るように努めていく。	校内にはカウンセリングルームが設けてあり、適宜使用し、学生との面談を行っている。退学を避けるべく対策として以下の取り組みを実施している。 欠席過多に陥る学生の早期発見のため、出席状況チェックを適宜実施し、学生本人に出席状況を把握させ、週 1 回のホームルーム等で面談を行いながら学生状況を把握している。 学校やクラス内での人間関係の構築が勉学意欲の向上や退学予防にもつながるとの認識から、クラスの親睦が深まるよう、授業以外でも、スポーツ大会遠足、工場見学等の実施にも力を入れている。

最終更新日付

2024 年 7 月 1 日

記載責任者

伊澤 明

4 教育成果

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	向上している。	セミナー案内、求人開拓、個別面談、面接指導等の機会を提供しながら、指導にあたっている。	より一層、学生への教育・指導や求人確保に努めていく。	就職データ
4-19 資格取得率の向上が図られているか	4	向上している。	目標資格に対する意識付けと、資格取得までのタイムスケジュールを明確にしている。放課後の補習や、学生個々に対して、弱点を補っている。	試験範囲の改定等、今後も臨機応変に対応しながら、社会に出て活躍できる人材を育てていく。	学校案内
4-20 退学率の低減が図られているか	3	ほぼ変わっていない。	退学要因が家庭の経済的事情、精神的な疾患など多岐にわたる現状において、非常に対応が困難な問題でもあると考えている。	個別対応の充実を基軸にして、学校、生徒、保護者の情報共有化を深め、さらに密接な関係を構築し、退学率の減少に努めていく。	在籍者人数
4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	やや足りないと思う。	在校生は把握しているが、卒業後何年かは連絡を密にとってはいないが、その後は十分ではない。	SNS 等を利用し、卒業生との連携、情報交換をさらに進め、企業等についての情報収集がより一層出来るように努めていく。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

基準 5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職・進学指導は各担任がキャリアデザイン室との連携により実施している。具体的には、就職に対する意識づけ、マナー講座、模擬面接、個別面談等を実施、また、就職セミナーや企業説明会等の情報を提供している。 カウンセリングルームを設置し、個別相談に対応した支援を行っている。日々の教育活動の中で担任が生徒一人ひとりの状況を把握し、教務部で情報を共有している。 日本学生支援機構、各種教育ローン等以外にも田村学園奨学生制度や特待生制度、新特待生制度などを設置している。 健康に関する相談や学内での突発的な事故や怪我について、情報を教務部全体で共有し、問題があれば解決のための策を講じている。健康診断は年一回行っており、学内において急な傷病に対しても、救急箱完備・AED 設置等により健康・安全管理に努めている。 ボランティア活動は、人間教育、専門教育の一環として捉えており積極的に推進している。横浜駅東口の清掃活動等、積極的に参加している。 適宜、学生たちに学生寮等の情報を提供し、パンフレットも掲示、配布している。 卒業生のフォローアップは、連絡をとり、就労状態の確認、現在の状況確認等を当時の担任が行っている。また、卒業生の活躍により求人をいただくこともある。	クラス担任制度 教員が担任を行うクラス担任制度を採用している。週 1 回ホームルームを行い、学生への諸連絡の他に、学習・生活・進路等のカウンセリングに対応している。また定期的に個人面談を実施して個別の相談の機会を設けている。その結果、学生の学校生活上の悩みや精神状態の変化について、早期の気づきの契機となっている。 奨学金制度 ・田村学園奨学生制度 ・特待生制度 ・短大、大学卒特別奨学生制度 ・その他の奨学金等 学費の分納・遅延に対し、学生個々の状況に応じて、個人相談に応じている。

最終更新日付

2024 年 7 月 1 日

記載責任者

伊澤 明

5 学生支援

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	整備され、有効に機能している。	就職・進学指導はキャリアデザイン室との連携により実施している。具体的には、就職に対する意識づけ、マナー講座、模擬面接、個別面談等を実施している。	将来像を早めに描かせられるよう、教員も研修等を活用し、時代にあった更なる技術・能力の向上が必要である。	マナー講座 履歴書・面接マニュアル
5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	整備され、有効に機能している。	クラス担任制度を採用している。カウンセリングルームを使用し、学習・生活・進路等のカウンセリングに対応している。	特になし	学校案内
5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	整備され、有効に機能している。	日本学生支援機構、各種教育ローン等以外にも田村学園奨学生制度や特待生制度、新特待生制度などを設置している。	特になし	募集要項 奨学生申込書 特待生制度
5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	有効に機能している。	年1回健康診断を行っている。急な傷病に対しても、救急箱完備・AED設置等により健康・安全管理に努めている。	特になし	健康診断実施要項 健康診断実施フロー 健康診断注意事項 学校健診受診表 心電図受診表
5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3	ある程度は機能している。	課外活動は、人間教育、専門教育の一環として積極的に推進している。横浜駅東口の清掃活動等、積極的に参加し、地域社会に貢献している。	スポーツやボランティア等、学生からの要望に対し、クラブ活動等の整備・発足を、速やかに対応していく。	
5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	支援は適宜行っている。	学生寮等の情報を提供している。パンフレットも掲示・配布している。	特になし	

5-28 保護者と適切に連携しているか	3	連携している。	個別に面談が必要な場合（欠席過多など）は担任が適宜連絡を行っている。必要に応じては、保護者との面談も実施し、連携を図っている。	学校だけでは目の届きにくいところを保護者と連携して学生を指導していく。	入学願書
5-29 卒業生への支援体制はあるか	2	やや足りない。	卒業生と連絡をとり、就労状態の確認、現在の状況確認等を行っている。	特になし	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
普通教室・P C 室・図書室・カウンセリングルーム等の教育施設・設備を設置配備している。既存設備の保守点検とともに、教育内容の変更・進化に伴う新設備の導入をすすめ、教育環境を常に刷新している。 内定通知書・研修依頼書を確認し、内定企業への研修に参加させている。 学校は、学生が安心して学び、教職員が安心して教育活動を行う安全な場所 でなければならない。しかし、ときとして学校の安全を脅かす事件・事故が 発生する場合もある。そのようなときに備えて、適切かつ確実な危機管理体制を確立している。 不審者に対する施設上の弱点に対しては、教職員の巡視等を行うことによっ て、危険をいち早く発見するなど、日常の危機管理意識を高めることにより被害を最小限に抑える。 職員室に在室しているときには、来訪者について注意を払う。 マニュアルに従って、事件・事故に対処できない場合は、臨機応変に役割が 変更できるよう、各担当者の業務内容も熟知し、緊急事態発生時に備える。 校外活動時は、地理的な状況や交通機関等、計画を作成する段階で、必ず下 見を行い、危険箇所についてチェックしている。 経路や活動場所近くの、救急病院及び警察署の場所、住所、電話番号を確認 し、必要に応じて連絡を行うようにする。 学生に対して安全指導と防犯指導を十分に行い、特に、防犯指導については、 犯罪被害のおそれがある場合など、万一の際の対処のしかた（「助けを求める、 逃げる、信頼できる大人に話す」など）についても指導している。	緊急事態発生時の対応図・緊急事態発生時の連絡先一覧表を作成し、教職員 の周知を図っている。 原則年 1 回、避難訓練を実施している。避難先は横浜市立平沼小学校校庭な ので、担任が引率し、万が一に備えている。

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

6 教育環境

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	十分に整備している。	普通教室等の施設・設備を設置 配備している。既存設備の保守点 検とともに、教育内容の変更・進 化に伴う新設備の導入をすすめ、 常に教育環境を刷新している。	特になし	教室座席 施設概要書 学内ネットワーク構成図 平面図面積 等
6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2	内定企業研修は十分な体制を整備している。	内定通知書・研修依頼書を 確認し、研修に参加させてい る。	職業に必要な実践的かつ 専門的な能力を育成するた め、学外研修の実施を策定し ていく。	インターンシップ内規
6-32 防災に対する体制は整備されているか	4	整備している。	学校の安全を脅かす事件・事故 が発生する場合も想定し、そのよ うなときに備えて、適切かつ確実 な危機管理体制を確立している。	特になし	基本方針・危機管理体制 連絡網・連絡先 安全確保・学校行事の体制等 避難経路図

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の募集は、プライバシーの保護に配慮しながら、学則をもとに入学案内、募集要項のとおり行っている。学園の魅力を十分にPRできるような方法を模索しながらHP、SNSの充実を図っていこうと考えている。 また、本校の学校案内は教育目標、設置学科コース、カリキュラムとシラバス概要、学校生活紹介など分かり易いものとなっている。 広報ツールの出稿内容や説明表現は、その真実性、明瞭性、公平性、法令遵守等について、十分な配慮を行うとともに、入学希望者に十分な判断材料を提供できるよう実施している。 就職実績は、学生募集活動に大きな影響を持つと考えており、学校案内などに活躍している卒業生の就職先などを可能な限り、紹介している。 入学選考の方針は、学ぶ勉強意欲・資格取得への気持ちの強さ、業界就職への希望理由や考え方などを志望者本人から面接により直接確認する人物・意欲重視の選考としている。それに伴って行う適正審査も、同様の方針をとっている。 各学科における入学金、授業料、施設費等の学納金は教育内容、教育環境に照らし、妥当な金額と考えている。また、奨学生制度や特待生制度等も充実させている。	

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

7 学生の募集と受け入れ

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33 学生募集活動は、 適正に行われているか	4	適正に行われている。	学生の募集は、プライバシーの保護に配慮しながら、学則をもとに入学案内、募集要項のとおり行っている。	学園の魅力を十分にPRできるような方法を模索しながらHP、SNSの充実を図っていく。	学校案内 募集要項
7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	正確に伝えている。	学校案内・HPの就職データ等で活躍している卒業生の就職先や就職率などを可能な限り、紹介している。	特になし	学校案内 就職データ
7-35 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	適正かつ公平な基準に基づき行われている。	入学選考方法は募集要項に明示しており、その基準に沿い、可否を総合的に判断している。	特になし	募集要項 個人情報保護規程 個人情報保護方針
7-36 学納金は妥当なものとなっているか	4	妥当なものとなっている。	各学科における入学金、授業料、施設費等の学納金は教育内容、教育環境に照らし、妥当な金額と考えている。	特になし	募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営の財務基盤においては、安定性を優先に考え、中長期的な運営基盤の構築に努めている。充実した専門教育の実施に必要な教職員、施設設備等を確保して学校運営を行っている。財政基盤は安定しているとはいえ、少子化という厳しい状況をふまえ、入学者確保を重視した学校運営をし、財務基盤の向上を目指していく。 予算・収支計画については、学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、理事会の承認を得た上で、執行している。 財務情報の公開は、学校法人財務情報公開規定に基づき、帝国データバンク会社年鑑にて公開している。詳細は財務情報公開規定に基づいて対応している。 会計監査は毎年、公認会計士のもと、適正に実施し、財務関係書類等を監督署に提出している。	

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

8 財務

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	財務基盤は安定している。	安定性を優先に考え、中長期的な運営基盤の構築に努めている。	少子化という厳しい状況をふまえ、入学者確保を重視した学校運営をし、財務基盤の向上を目指す。	横浜経理専門学校経理規定 財務関係書類
8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	有効かつ妥当なものとなっている。	学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、理事会の承認を得た上で、執行している。	特になし	横浜経理専門学校経理規定 財務関係書類
8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	3	適正に行われている。	会計監査は公認会計士のもと、適正に実施されている。	特になし	
8-40 財務情報公開の体制準備はできているか	3	財務情報公開の体制準備はできている。	学校法人財務情報公開規定に基づき、帝国データバンク会社年鑑にて公開している。詳細は財務情報公開規定に基づいて対応している。また HP でも公開している。	特になし	財務情報公開規程 財務情報閲覧申請書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令、専修学校設置基準等を基本に、設置学科に適用される関連諸法令を遵守し、適正な運営を行わなくてはならないと考える。 また、法改正等があった場合、迅速に必要な改善・報告を行い、コンプライアンスに努めていく。 適正な学校運営に向け、法令順守の意義についてミーティング等で教職員に周知している。 個人情報については、学園全体で個人情報保護方針・個人情報保護規定に基づいて保護を図っている。特に個人データ、外部秘データ取扱いの注意は周知徹底、意識啓発を継続的に行っている。 自己点検・自己評価は、教育活動・業務において、より良い学校にするために実施するという主旨から、学園全体で取り組んでいる。年度末に点検・評価を実施し、新年度に向けて課題等を整理・改善し、教育力の向上に役立てている。	学生も関係法令等の遵守は当然だが、外国人留学生は、出入国管理及び難民認定法等も遵守しなければならない。この遵守すべき内容についてオリエンテーションやホームルームの時間で学生には周知・徹底を行っている。

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

9 法令等の遵守

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41 法令・設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	適正な運営を行っている。	法令、専修学校設置基準等を基本に、設置学科に適用される関連諸法令を遵守して、適正な運営を行っている。	法改正等があった場合、迅速に必要な改善・報告を行い、コンプライアンスに努めていく。	
9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報に関し、その保護のための対策をとっている。	学園全体で個人情報保護方針・個人情報保護規定に基づいて保護を図っている。	特になし	個人情報保護方針 個人情報保護規程 個人情報開示・訂正・利用停止・削除申出書
9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	改善に努めている。	自己点検・自己評価は、教育活動・業務において、より良い学校にするために実施するという主旨から、学園全体で取り組んでいる。	今後も年度末に点検・評価を実施し、新年度に向けて課題等を整理・改善し、教育力の向上に役立てていく。	教務管理工程表 自己点検進捗表フォーム 自己点検自己評価報告書フォーム
9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	公開に努めていく。	HP にて公開している。	特になし	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
スポーツアカデミー事業を実施している。 老若男女問わず日々の生活にスポーツを取り入れる方が増え、スポーツに関する関心が高まっている今、スポーツアカデミーは今以上のスポーツの普及・発展・交流を目指している。 その一環として小学 4 年生～中学 3 年生対象のバスケットボールスクール（ZEAL）活動を実施している。スクール卒業者は中学校・高校でもバスケットボールに携わる者が多数。今後は 3×3 結成、U-15 結成などを目的とし、活動を行う予定。 附帯教育への取り組みは、生涯教育の展開において重要な意味があると考えている。具体的には社会人向けに、本校の教育ノウハウを活用した完全攻略講座（日商簿記 3 級コース・日商簿記 2 級商業コース・日商簿記 2 級工業コース）を附帯教育として設けている。	生涯学習・附帯教育事業カリキュラム 日商簿記 3 級コース ・簿記原理・複式簿記システムを日商 3 級レベルで学習します。 ・個人企業の記帳から決算までの基礎知識を学習します。 ・ビジネスパーソンの必須スキルである財務会計基礎知識を習得できます。 日商簿記 2 級コース 商業 ・財務会計基本システムを日商 2 級レベルで学習します。 ・簿記会計から財務諸表・会計学そして財務分析に必要な基礎知識を 学習します。 ・ビジネスパーソンの必須スキルである財務会計基礎知識を習得できます。 日商簿記 2 級コース 工業 ・製造業における簿記の基本システムを日商 2 級レベルで学習します。 ・初歩的な原価計算（製品の原価がどう計算されているか）を 2 級レベルで学習します。 ・ビジネスパーソンの必須スキルである原価管理基礎知識を習得できます。 スポーツアカデミー スクール卒業者は中学校・高校でもバスケットボールに携わる者が多数。今後も上のステージで活躍できるよう努めていく。

最終更新日付	2024 年 7 月 1 日	記載責任者	伊澤 明
--------	----------------	-------	------

10 社会貢献

点検中項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45 学校の教育資源 や施設を活用した社会 貢献を行っているか	4	行っている。	スポーツアカデミー事業や 資格取得夜間講座を実施し ている。	今後もより一層社会に貢 献できるよう努めていく。	スポーツアカデミー 完全攻略講座
10-46 学生のボランテ ィア活動を奨励、支援 しているか	3	奨励、支援している。	横浜駅東口の清掃活動等、 積極的に参加し、地域社会に 貢献している。	ボランティア活動は人間 教育、専門教育の一環として 捉えており今後も積極的に 奨励、支援していく。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2024年7月1日	記載責任者	伊澤 明
--------	-----------	-------	------